

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス NEXT FRIEND		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 16日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「できるようになった」や「できる!」といった成功体験を積み重ねる支援を大切に、利用者が自信を持って様々な経験に参加できるように、多様なプログラムを提供しています。	個々の発達段階に合わせて、達成可能な課題を設定することで、「できた!」を実感できる場面作りの提供しています。 また、多様な活動を通して、成功体験・ステップアップの機会を広げています	成功体験の積み重ねをより可視化し、本人が実感できる機会を大事にした仕組みを考案します。 職員間で支援方法の検討・共有を定期的に行い、支援の質の向上を図ります。 プログラム内容を定期的に見直し、より多様な挑戦機会を提供し、ステップアップを図ります。
2	自ら考え、主体的に取り組める機会を大切に活動や支援を提供しています。	指示を待つのではなく、次に何をすべきか本人が考える時間の確保やライフスキルとしての自律を促します。人間関係でのトラブル発生時も、ソーシャルスキルを育む好機と捉え、本人が納得できる解決策を導き出せるよう「考えるヒント」を与える支援を意識しています。	職員間で「考える力」の引き出し方を定期的に検証・共有し、より高度な対人スキルや生活スキルの獲得を目指します。 本人が達成感を感じることができるような仕組みを考案します。
3	個別活動・集団活動・体験活動など、静と動のバランスが取れた多様なプログラムを提供しており、利用者の興味・関心を引き出す機会が豊富に設けています。	季節行事や外部刺激を取り入れた体験活動を通じ、利用者が未知の事柄への挑戦や新しい「得意」を発見できるプログラムの提供や場面作りを行っています。 自由時間の使い方はとても重要です。本人の興味に合わせて視野や興味の幅の拡大や深掘り、それに伴う人間関係でのコミュニケーションなどの支援を意識しています。	職員間での事例検討や活動報告を密に行い、プログラム内容を定期的に見直します。 より挑戦がいのある多様な体験機会を企画・実施します

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢や成長段階に応じた支援を行っていますが、進路や将来の社会生活を見据えた具体的な支援は十分とは言えない状況です。	進学、就労に向けて必要となる具体的な課題や経験に関する知識、情報が不十分であることが課題です。	今後は情報収集や研修を通して理解を深め、事業所で実践できるようライフスキル支援の強化を心がけます。
2	事業所の取り組みや強み、日々の活動の様子など情報発信が不十分な点があります。	発信媒体や更新頻度が限定的であり、活動内容の整理や見える化が十分に行えていないことが課題です。	定期的な情報発信体制を整え、写真や事例を活用して分かりやすく活動内容を伝えるとともに、事業所の特色や支援方針を明確にし、保護者・関係機関への情報共有を強化します。
3	地域との継続的な交流機会が限定的であり、地域資源を十分に活用できていない点があります。	児童館や特定の事業所との交流はありますが、地域ネットワークも発展途上であるため、交流機会が課題となっています。	地域行事やイベントへの参加を行うとともに、近隣施設や学校、他事業所との連携を図りながら、小規模な交流から段階的に取組を広げていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
放課後等デイサービス NEXT FRIEND		2026年2月27日					44	22
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3		1	利用人数によって狭い時がある。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			3	施設内を視察したことがありませんので分かりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			2	施設内を視察したことがありませんので分かりません。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1	まだ利用期間が浅い為、よく分かりません。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	毎月、今月は何をやるのかな？と親の方がワクワクしています。	今後ともワクワクしていただけるようなプログラムの提供に努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	1	2	他の放デイとの合同の時に、同じ学校の卒業生と会えたので嬉しそうでした。	屋外活動（公園や児童館）を通して、地域の子どもたちと交流する機会を設けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	1	7		今後、検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1			忙しい中、その日あった事など詳しく教えて頂き、帰りの車の中での話が広がり楽しいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	2	2	12	あれば参加してみたい。	今後の需要やニーズを考慮し、検討させていただきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		4	訓練の実施がされているかが、不明の為分からないです。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	1	4		事故の大小に関わらず報告を徹底するとともに、発生の振り返り、職員間での共有、再発防止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				他校の友達もできて、楽しそうに通っていると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1		楽しく過ごせる教室づくりを目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			いつもありがとうございます。	今後ともよろしく願っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス NEXT FRIEND		2026年 2 月 27 日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		活動内容に応じて、時間での交代制やレイアウトを変更しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		定員に沿った人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		イラストや文字を使用し、視覚認知できるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々、清掃と消毒を行っています。また、空気清浄機を増設し、定期的に換気を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	個室はないが、事務室や仕切りを利用し、空間の提供を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職員間で振り返りを行い、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表を配布し、記入のご協力をお願いしております。ご意見により、改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に1回社内面談を実施し、業務改善につなげています。日々の支援の中で気になることがあれば、その都度確認、共有しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修等に参加しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		教室間で話し合い、共有しております。行事カレンダー、月末便りにて毎月お知らせしています。HPやSNSにも掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		半年に1度面談を行い、支援計画の見直しを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			行なうことはできているが、職員全体で話し合っ決めていくことはできていないように思います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		AI等も使用し、様々な方向性でのアセスメントを参考にしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		体幹や箸の使い方、進学の際に何が困るか等を職員間で話し合い、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員全体で考案しています。また、季節を感じられるような活動を立てるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子ども達に楽しんでもらえるようなプログラムを考案しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別と集団の活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ミーティングを行い、その日の活動内容、役割を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		活動後、振り返りを行っています。	振り返りをするにはあるが、頻度はバラバラだと感じます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日様子を記録し、活動内容や活動内容や支援計画に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に1度面談を行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			意識ができていない部分があると思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		その日の登所後の流れを掲示するなど、自己選択、自己決定できるような支援の提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理責任者が中心となり、担当者会議に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	必要に応じて学校との連携を行なっています。	現状、地域との関わりは薄いので、必要に応じて様々な関係機関と連携が取れるような体制を整えていけるよう努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	学校送迎の時に、情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5	直接のやりとりはしていませんが、保護者から情報を共有していただいています。	できていないように思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5		現在、該当なし。今後、必要に応じて提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		できていないように思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	児童館を利用することはあるが、地域の子どもと関わる機会は少ないように感じます。	屋外活動（公園や児童館）を通して、地域の子ども達との交流を増やしていきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		特定の職員のみに参加しているように思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	送迎や面談時に、保護者の方と情報共有を行なっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		個別でのご相談対応はさせていただいているが、支援プログラムとしては未実施。今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		見学や、ご契約時、面談の際に説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談シートを配布し、子どもや保護者の要望、気になることや今後の課題等を記入していただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		面談時に支援内容を丁寧に説明し、同意していただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		ご相談があった場合は対応し、職員間でも情報の共有を行なっています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7		今後ニーズに応じて、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		インスタグラムを活用し、子どもたちの様子をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		業務以外での持ち出しをしない等の徹底をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	今年度、他事業所様との合同行事に参加しました。	イベントなどを通して、地域との関わりを増やしていきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		年に2回、避難訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		送迎時や事前にお伺いしている利用児童に対し、情報共有及び対応をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	アセスメントシートにて聞き取りを行っています。また、医師からの指示書がある場合は、それに基づいて対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	職員間で話し合い、安全確認見直しをしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		避難訓練等行った際は、HPやSNS等で周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例があった場合、記録を残して共有し、対策を考えています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員が外部研修に参加し、内部研修を行い予防に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		契約書等には記載し、契約時には保護者への説明を行っています。		